

令和6年 第2回 木曽広域連合議会 定例会 行政報告

令和6年5月28日

本日は、木曽広域連合議会定例会（第2回）を招集しましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多用の中をご出席いただき、ありがとうございます。

南木曽町では、任期満了に伴う町長・議会議員選挙が4月16日に告示され、町長には現職の向井裕明町長がご当選されました。向井町長には、3期目を迎え町政の益々のご繁栄をご祈念申し上げます。

また、同町議会議員選挙は、4月21日の投開票により新たな議会構成が決まり、今回、南木曽町議会から、広域連合議会に早川親利（はやかわ ちかとし）議員、高橋進（たかはし すすむ）議員、松原崇文（まつばら たかふみ）議員をご選出いただきました。今後、連合議会運営等お世話になりますが、よろしくお願いいたします。前選出の山崎隆二（やまざき りゅうじ）議員、近藤隆（こんどう たかし）議員、坂本満（さかもと みつる）議員には、連合議会での活躍は元よりそれぞれのお立場でご尽力いただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、この春は早くから温かな日もあり、桜の花などが一斉に咲き始めました。また夏日を迎えた日もあり、地球温暖化の影響でしょうか異常気象が気になる所です。

令和6年度連合事務局職員体制は、木曽社会福祉事業協会が新たな木曽寮の指定管理者となったほか、木曽クリーンセンターの不燃施設の民間委託により、職員全体で21名の減となりましたが、新規採用職員7名（内消防4名）、一般任期付職員5名、町村職員3名（木曽町/上松町/南木曽町）の派遣をいただき、総勢152名体制（21名減事務職員82名消防職員70名）で所管業務に努めてまいります。

本年度は、広域計画第6次（R5～5ヵ年計画）2年目を迎え、計画に沿った木曽地域振興構想における地域づくりを進めてまいります。

それでは、2月定例会以降の連合各課の業務報告を申し上げます。

□地域振興課

○ 「いちのみやりバーサイドフェスティバル」が5月3日から5日まで国営木曽三川公園で開催され、管内業者9者が出展して体験活動、特産品販売など木曽地域の情報発信を行いました。

- 「第42回わいわいカーニバル」が5月12日に春日井市落合公園で開催され、木曽地域の森林保全啓発を目的に展開しているイベントのひとつ「木曽ひのきの箸づくり体験」には、68名の子どもさんに参加いただきました。

□森林整備推進室

- 今年度から森林環境税の賦課徴収が始まり、改めて森林環境譲与税の使途や森林整備の取り組みに社会的関心が寄せられています。郡内6町村の森林経営管理業務は、これまでに40団地3,337haの森林調査を終え、27団地1,136haの経営管理権を取得、うち13団地318haの経営管理実施権配分計画の公告を終えました。引き続き構成町村と連携を図り、対象森林の調査業務を進めてまいります。

□健康福祉課

- 3月27日に「木曽病院との一次救急医療に関する意見交換会」を正副連合長出席により開催いたしました。当日は、一次救急のほか、病院事業や地域医療などについても懇談し、有意義な意見交換となりました。
- 介護保険の運営状況(5/9現在)については、令和5年度の給付実績が、対前年度0.17%(5,960千円)減の34億6千8百万円余となる見込みです。
第8期介護保険事業計画の3年度目として、ほぼ見込みどおり(92.3%)の給付状況であり、今年度も適正給付に努めてまいります。

□環境課

○長寿命化計画

本年度事業である「長寿命化計画策定業務委託」は5月9日(木)に行われた入札により、(株)環境技術センター、契約金額4,950,000円(税込)で契約締結いたしました。本事業により可燃処理施設の長期的な改修更新計画を定め、施設の延命化を図るとともに、財政支出の節減を目的として進めてまいります。

□建設課

- 4月30日、事務担当者による「長野県南部国道連絡会 第1回幹事会」が伊那市で開催

されました。7月11日に開催される総会に諮る提出議案の協議と令和6年度中部国道協会の事業計画（案）について説明を受けました。

○今年度は第3期目となる橋梁定期点検業務の初年度となります。令和5年度に策定された「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁定期点検一括発注業務と橋梁修繕業務の早期発注に努め準備を進めています。

□情報センター

○「木曽広域連合 自治体 DX・ICT 利活用計画」につきましては、防災力強化事業として、3月28日から「木曽暮らしの掲示板」を「木曽防災・暮らしの掲示板」に改め、天気・交通・木曽川水位・災害情報の提供を開始しました。ケーブルテレビ、インターネット、スマートフォンの複数メディアでの提供となっています。

□木曽文化公園

○木曽文化公園では、3月10日(日)に共催事業として「木曽文化協会発表会 2024」を開催し、様々な舞台芸術を鑑賞していただきました。

○主催事業としては、「バレミック・ワークショップ」を年間通して実施し、延べ241名にご参加いただきました。3月23日(土)には「木曽おもちゃ美術館」にて出張公演を実施し、来館されていたお客様にご覧いただきました。また、24日(日)には「映画鑑賞会」で2本の映画を上映し400名ほどの来場者がありました。

□環境センター

○緑聖苑では、昨年度466件の（前年度比－11件）火葬を執り行いました。うち新型コロナウイルス感染症の方の受入れは9件ありました。今年度4月に火葬業務委託の更新を行い、再び3年間の民間委託を行います。

○環境センターの昨年度実績は、し尿処理が3,623 kℓ（前年度比－4.2%）、浄化槽、農業集落排水が10,364 kℓ（前年度比＋0%）となり、また、汚泥集約センターの昨年度実績は、10,730 m³（前年度比＋2.4%）となりました。環境センターでは、今年度3年毎の「精密機能検査」、汚泥集約センターでは、5年毎の「下水道経営戦略」の更新を行います。

□木曽クリーンセンター

○5 年度の行政回収によるリサイクル量は、紙類 667.9 t、プラスチック類 238.7 t、生ごみ 439.2 t、衣類 32.6 t、小型家電等は 49.7 t などがリサイクル品として回収され、ごみの減量に繋がりました。引き続き住民に分かりやすい周知・広報を行い、リサイクルの推進により CO2 削減を目指してまいります。

○昨年度の可燃ごみ量は、料金改定などの影響もあり、前年度比 259t 減の 4,902t（1 日当たり 20.1t）と過去最低量となりました。不燃ごみについても、35 t 減の 382 t でありました。今後ごみ減量に向けた新たな施策を検討してまいります。令和 6 年 4 月 1 日より民間委託を開始した不燃ごみ処理施設についても順調に業務が進められています。今後においても、管理監督を怠ることなく各業者と連携を図り施設運営を進めてまいります。

□消防本部

○本年度の消防職員総数は、70 名体制で、県消防学校への教官派遣が 1 名、南信州広域連合・木曽広域連合消防通信指令事務共同運用準備委員会事務局への派遣が 1 名、新規採用職員 4 名（男性 3 名、女性 1 名）は、4 月 9 日より半年間、初任研修のため県消防学校に入校しております。

○5 月 19 日、本年 3 月に南木曽町で発生した下草などが燃えた火災において、消火活動にご協力いただいた、みなみ木曽 JBC（ジュニアベースボールクラブ）に感謝状と記念品を贈呈しました。

○本年 1 月から 4 月末までの火災出動は 4 件（前年比 3 減）となり、内訳は、建物が 1 件（3 減）、その他の火災が 3 件（前年比同）となります。また、救急出動は 592 件（前年 97 件増）となりました。

今回提出した議案であります、条例の一部改正が 6 件、条例の制定が 1 件、規約の制定が 1 件、令和 6 年度補正予算案が 2 件、物品購入契約締結が 1 件、同意が 1 件の上程となります。

各議案につきましては、事務局長から提案し、詳細につきましては担当課長より申し上げます。ご審議の程、ご理解を賜われますようお願い申し上げます、行政報告とさせていただきます。